

静岡市清水区感染症発生動向

2020年 41週

集計期間 10/5-11

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱				1										1
溶連菌感染症			1			1								2
感染性胃腸炎			3	1	1	3	2	4			4	4		22
水痘														
手足口病														
伝染性紅斑														
突発性発疹			5											5
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
			小児科定点総数		30		増減	6	前週比	125%	定点当たり	5		
								病院:開業医	0:30		増減	0:+6		
内科Flu														
			インフルエンザ総数				増減	0	前週比	?	定点当たり			
								小児科:内科	0:0		増減	0:0		

総数30、前週の125%と増加ですが、まだまだ少数です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比146%、定点当たり3.7と増加です。

以下は、全て定点あたり1未満ですが、突発性発疹5名が目立ちます。

残りは、溶連菌感染症2名、咽頭結膜熱1名のみです。

内科も含むインフルエンザ、28週続けて0です。

10/1、小児科休日当番医は、来院数35名、とご報告をいただいています。

落ち着いた状況ながら、気温が下がり、喘息や、咳嗽、鼻汁のライノ系統とおぼしき「風邪」の患者さんが増えており、

当番医の人数を見ても、来院患者数は、通常の1/5から、1/3程度へと、

まだまだ、少数ながら、少し増加傾向のようです。